

セミナーアンケートの集計結果（平成 25 年 11 月 19 日開催）

1 実施方法

記名は任意とし、基調講演、「現場からの報告」発表団体別に、自由意見を記載してもらう形式で実施。

2 回答数

当日聴講者 314 名のうちアンケートに回答した方は 111 名

◆基調講演「自治体の経営改革－“見える化”の時代の公会計ガバナンス－」

主な意見

- ・ 「P/L 管理」だけでなく、「B/S マネジメント」が必要である点ということを感じた。
- ・ 市民目線から見た「見える化」の実施が必要であるという点が印象に残った。
- ・ 新公会計制度が自治体の経営改革に必要不可欠のものであり、特に BS 改革へと推移していることが理解できた。
- ・ データに基づく「見える化」は自治体の改革に有効であると感じた。
- ・ マネジメント層の意識改革を訴えていたのが印象的だった。
- ・ 公会計の「見える化」が進むことで、住民も自治体の仕事内容を理解できるようになると思う。
- ・ 「データで見せなければ住民は納得しない」ということが印象に残った。

◆愛知県「新公会計制度導入直後の取組みについて」

主な意見

- ・ 導入における全庁組織をあげての取り組む姿勢などが参考となった。
- ・ 導入した場合、まず何をするのが具体的にイメージできた。
- ・ 職員の意識改革の必要性を強く感じた。
- ・ 制度導入の考え方がしっかりしていた。
- ・ 開始BSの作成に4年の時間を要したことに驚いた。
- ・ キャラクターの使用や資料の充実など研修体制の充実には感心した。
- ・ 複式簿記に取り組む際のハードルの高さを軽減する工夫がとてもよい。
- ・ 全庁的な理解を得る上での担当者の熱意を感じた。
- ・ 制度導入において、簿記の必要性を感じた

◆町田市「町田市の事業別財務諸表～新公会計制度による事業別マネジメント～」

主な意見

- ・ 各事業課が事業別財務諸表を作成すると共に分析し、マネジメントを行っているということで、新公会計を導入したメリットが明確に現れていると感じた。
- ・ 分析結果から将来のリスクを定量化している点が参考になった。
- ・ 制度導入に当たっては首長の強力なリーダーシップが必要不可欠だと思った。

- ・ 実際の財務諸表を用いた資料で大変見やすく、理解し易い説明だった。
- ・ 各部署から十分な基礎情報が得られる体制を作り上げたことに感銘を受けた。
- ・ 様々な分析結果を公表され、非常に先進的な事例であると感じた。
- ・ 事業別財務諸表作成により管理職が議会等での発信はもとより、職員の経営感覚を磨くに重要な取り組みである。
- ・ 事業目的の達成度の評価が財務諸表にリンクしている点がすばらしい。
- ・ 行政サービスと財務情報をどのように結びつけるかが大事だと感じた。
- ・ 今後、より具体的な活用方法について、お話を聞きたい。
- ・ 得られた情報をどのように集約するかという点も考えていく必要がある。

◆江戸川区「東京都方式導入の決定経緯と取組状況」

主な意見

- ・ 来年の発表を楽しみにしている。
- ・ 長期計画の施策体系とのリンクが非常に興味深かった。
- ・ ベンダーを変更しても支障がないようにシステム開発を進めることが重要だと感じた。
- ・ 意欲ある自治体を先行自治体が効果的にバックアップしていく形になってきている点がすばらしい。
- ・ まず、一步踏み出すことが重要であると感じた。
- ・ 導入への取組の初期段階がよく分かり、どこが問題なのかよく理解できた。
- ・ 導入初期段階であり、今後導入を検討していく自治体にとっては一番身近な内容であった。

◆東京都「新公会計制度普及促進連絡会議の取組みについて」

主な意見

- ・ パンフレットやロードマップにより、導入に当たり、実際何をすれば良いのかイメージできた。
- ・ 改定モデルによる財務諸表を作成しているが、活用方法や意義がわからなかったが、説明を聞き、新公会計制度に対する理解が深まった。
- ・ 制度普及促進に向けた活動に対して敬意を表す。
- ・ 公会計を活かそうという主旨、他では真似のできない活動である。
- ・ 自治体間の横のつながりは重要であると思う。
- ・ 中小自治体に広めるために、トップ向けのリーフレットは有意義である。もっと危機感を抱くようなものにしてもらいたい。
- ・ 引き続き、新公会計制度のノウハウを提供願いたい。

◆コメンテーター講演「こんなに身近な公会計」

主な意見

- ・ 新公会計制度への対応は、「必要な投資」であり、公会計改革は不可欠であると理解できた。

- ・ 公会計の改革は、活用されてこそ成果があることが非常に良く分かった。
- ・ 公表される財務諸表が増えれば、比較でき、より価値が増す。制度を広める取り組みが必要であることがわかった。
- ・ 東京オリンピックとストック情報の兼ね合いの説明は、身近で分かり易いと思った。
- ・ 「住民に分かり易い」「住民が活用し易い」公会計制度を目指すべき、というお話は大いに共感した。
- ・ 公会計制度の活用により、行政のムダが見直されるといいと思う。
- ・ 新公会計制度においては、事業別財務諸表の作成・公表が必要であると感じた。
- ・ 財務諸表が住民全体に理解されるよう、もっと分かり易くしなければならないと感じた。

4 その他

(1) 興味・関心を持った発表団体

	団体回答数
愛知県	36
町田市	74
江戸川区	26
東京都（連絡会議）	11

(2) 新公会計制度の導入及び活用の課題

- ・ 職員の意識改革
- ・ 導入コスト、費用対効果の説明
- ・ 庁内検討体制の構築
- ・ 固定資産台帳整備
- ・ トップマネジメントの意識改革 など

(3) セミナーに関する主な意見・要望（さらに知りたい情報など）

- ・ 財務諸表の具体的な活用方法について
- ・ 固定資産台帳整備について
- ・ システム導入の各フェーズにおける詳しい事例
- ・ 今後も継続してセミナー開催を行ってほしい など